

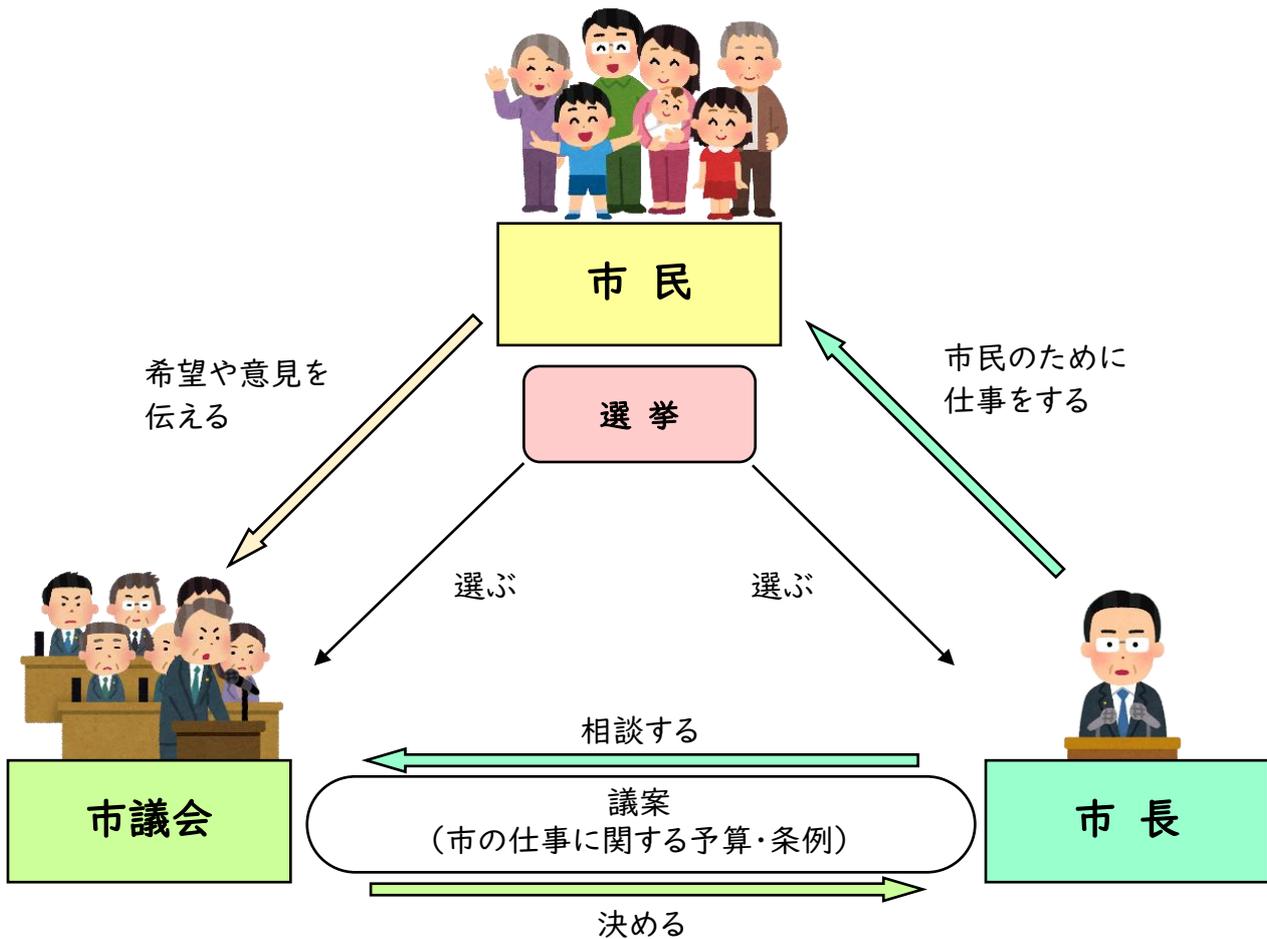


しぎかい 市議会ってなあに？

1 市議会ってどんなところ？

徳島市を住みよいまちにするにはどうしたらよいのかは、市民全員の話し合いで意見を出し合って考えるのが、一番いいやりかたです。でも、市民みんなが集まって話し合うのは大変です。

そこで、みんなが選んだ市民の代表が集まって話し合いをしてもらいます。その代表が「市議会議員しぎかいぎいん」で議員の集まりが「市議会しぎかい」です。同じように、市役所の仕事を進める市長もみんなが選んだ代表です。



2 市議会の仕事

市議会では、主に次の仕事を行っています。

- (1) 市のお金をこのように使う（よさん予算）という市長の提案を認めるかどうかを話し合っ
て、議会が認めたお金が正しく使われたかどうかを確認（けっさん決算）したりします。
- (2) 市民が生活しやすくするための決まり（じょうれい条例）をつくります。
- (3) 市民の生活をよくするために、国や徳島県などに「こうしてほしい」という意見を出します。（意見書の提出）
- (4) 市の仕事に対する市民からの意見や希望（せいがん請願・ちんじょう陳情）について考え、その結果を市に伝えます。

3 本会議と委員会

(1) ほんかいぎ本会議

市議会議員全員がぎじょう議場に集まる会議で、市民のために市がどのように仕事を進めるのかを決めます。市長が議案を説明し、市議会議員が不明な点を質問したり、答えを求めたりして、議会としての考え方を決めます。

(2) いいんかい委員会

市議会で話し合う内容は、幅広い分野にわたっているため、これらのことがらをいくつかに分けて、専門的に調査したり、話し合いをしたりするグループのことです。

徳島市議会では、定例会ごとていれいかいに必ず開かれる「常任委員会」が4つと、いくつかの常任委員会にまたがる課題や、市の重要な取組などを集中的に話し合う「特別委員会」が3つ設置されています。

4 議会の流れ

徳島市議会には、決まった時期に開かれる「^{ていれいかい}定例会」と、急に決めなければならないことができたときに開かれる「^{りんじかい}臨時会」があります。

徳島市議会では、1年間に4回（3月、6月、9月、12月）の定例会が開かれ、1回の定例会に16日から20日程度かけて、いろいろなことを話し合い、決めています。

本会議

市長が議案などを議会に提出して
説明し、議員が質問します。

※議案とは市の仕事に関する予算や条例
などの提案のことです



委員会

議案についてくわしく細かい点
まで話し合い、結果を委員長が
本会議で報告します。



本会議

委員会の話し合いの結果を聞き、
議案に賛成か反対かを
多数決で決めます。（議決）

